

「浜っ子育成・大相撲横浜場所－2010」観戦入場券の贈呈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、市内の高齢者や児童養護施設等の児童に大相撲を楽しんでいただくために、10月17日開催される「浜っ子育成・大相撲横浜場所－2010」観戦入場券を横浜市に寄贈いたしました。

この寄贈に伴って、横浜市長から神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会に感謝状が贈られました。

1. 日 時	平成 22 年 8 月 24 日 (火)
2. 場 所	横浜市庁舎 市長応接室
3. 寄 贈 者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 贈呈物品	大相撲観戦入場券 380 枚 (200 万円相当)

5. 概 要

大相撲横浜場所は、NPO 法人ヨコハマ未来地図づくり 100 人委員会が、平成 19 年から横浜開港 150 周年記念行事として始めたもので、今回は、高齢者と子供たちの異世代交流のふれあいの場づくりを目的として開催するものです。

県遊協と協会は、同 100 人委員会の趣旨に賛同し、横浜市内の高齢者や児童養護施設の児童に大相撲を楽しんでいただくために、横浜市に対して、観戦入場券 380 枚を寄贈いたしました。

贈呈式において、関根会長は「力強い姿や、数々の技の披露には、老若問わず元気付けられることと思います。大相撲観戦を、少しでも多くの方々に喜んでいただければ何よりのことと思います。私たち業界は、これからも各方面への社会貢献活動を続けてまいります。」とあいさつしました。

これに対して、林文字横浜市長からは、「相撲界も大変厳しい状況の中、地方巡業は大変な人気があります。大変有難いことです。高齢者や子供たちも楽しみにしていることと思います。」と感謝の言葉を述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞でも紹介されました。

